



STOP・こども虐待



～11月は児童虐待防止推進月間～

児童虐待発見のため、医療機関との連携を強化します！

横浜市児童相談所における平成 22 年度の児童虐待新規把握件数 626 件のうち、医療機関からの通報件数は「43 件」と、前年度の「20 件」と比べて倍以上となり、医療機関には「児童虐待を発見できる」重要な役割を担っていただいています。

横浜市では、医療機関とのさらなる連携強化のために、(社)横浜市医師会のご協力のもと、**市としては初めて医師を対象とした児童虐待に関する研修会の実施や専門ガイドの配布を行います。**

①「子ども虐待対応・医学診断ガイド」を発行します

横浜市では、厚生労働科学研究費補助金事業の成果として日本子ども虐待医学研究会が作成した、医療現場で使用する「子ども虐待対応・医学診断ガイド」の横浜市版を発行し、関係医療機関へ配布します。

子ども虐待対応・医学診断ガイド

医療機関での外来・救急応受（受診）時における児童虐待の発見の要点を示したマニュアル。医師や医療従事者としての心構え、記録の取り方、虐待の可能性のある受傷の種類について解説。

発行部数：ガイドブック A 5 版 10,000 部

A 6 版 5,000 部

簡易ガイドリーフレット A 4 版 10,000 部



A5、A6 版ガイドブック



A4 版簡易ガイドリーフレット

初

市主催 医師向け虐待の専門研修

②子ども虐待初期対応と医学診断に関する研修会を実施します

「子ども虐待対応・医学診断ガイド」の発行とともに、(社)横浜市医師会の協力をいただき、所属医師及び医療関係者を対象とした研修会を実施します。横浜市が児童虐待に係る医療的なアプローチの研修としては初めての実施となります。研修では、当該ガイドを作成した医師や児童相談所でケース対応をする医師からの実例を交え、外来・救急等におけるチェックポイントや配慮すべき事柄について講義します。*取材においでください。事前に問い合わせ先までご連絡願います。

開催日時：平成 23 年 11 月 24 日(木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分

会場：横浜市健康福祉総合センター 4 階ホール（中区桜木町 1-1）

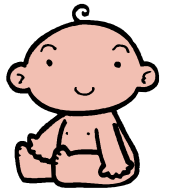
（開催概要の詳細については別紙資料参照）



お問い合わせ先

こども青少年局こども家庭課 児童虐待・DV対策担当課長 鈴木 裕子 Tel 045-671-4208

子ども虐待初期対応と医学診断 に関する研修会



子ども虐待は、深刻な社会問題であり、横浜市内でも多くの子どもが虐待を受け、尊い命が失われるケースも起こっています。

医療機関受診の場は子どもと保護者を支援につなげる早期発見の重要な接点の一つとなっています。

本研修では、子ども虐待の発見と対応について、「子ども虐待対応・医学診断ガイド」を作成した医師や児童相談所でケース対応をする医師から実例を交えて報告を行うとともに、外来、救急等におけるチェックポイントや配慮すべき事柄について報告します。

(「子ども虐待・医学診断ガイド」を配布し、資料として研修を行います。)

※本研修は日本医師会生涯教育講座 1.5 単位(カリキュラムコード1、13、14)が取得できます。

テーマ及び講師

1 「子ども虐待対応・医学診断ガイド制作経緯と概要」

群馬大学大学院 小児科専門医・医学博士

認定NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク理事 溝口 史剛 氏

2 「事例を通した子ども虐待への初期対応と医学診断」

横浜市西部児童相談所 田崎みどり 医務担当課長

1 開催日時

平成 23 年 11 月 24 日(木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分

2 対 象

横浜市医師会医師及び医療関係者(定員 100 名)

3 会 場

横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

(横浜市中区桜木町1-1 JR、横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩3分)

4 受講方法

事前申込みは必要ございませんので、直接会場にお越しください。

5 主 催

横浜市こども青少年局



オレンジリボンは児童虐待防止の
シンボルマークです。

担当 横浜市こども青少年局 こども家庭課
児童虐待・DV対策担当 木村、相原
電話045-671-4288